



新津第一小学校通信

もみじ

<http://www.niitsuiti.city-niigata.ed.jp>



令和3年9月28日発行
No.13
児童数 414人

数字から見えてくること

校長 間嶋 哲

6年生が5月に行った全国学力・学習状況調査の結果が学校に届きました。平均正答率は、国語で68%（全国平均64.7%）、算数で71%（全国平均70.2%）でした。また、標準偏差（ちらばりの程度を表す数値）は、国語で2.7（全国平均3.1）、算数で3.2（全国平均3.5）でした。これらの数値からみると、我が校の6年生は、全国と比較して国語が上位にあり、算数は平均より少し高いといえます。また学力差は、全国に比べて小さいといえます。

ところで、国語と算数以外に「質問紙調査」という、何と69項目に渡るアンケートがありました。簡単に分析してみると、我が校の6年生の良い点と、改善しなければならない点があることが分かりました。良い点は、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いでした。全員が「当てはまる」あるいは「どちらかといえば当てはまる」にチェックをしていました。素晴らしいことです。

一方、改善していかなければならない1点目として、「朝食は毎日食べていますか」という問いに、「あまりしていない」あるいは「全くしていない」と回答した6年生が、約11%いました（全国平均は約5%）。2点目として、「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに、「どちらかといえば当てはまらない」あるいは「当てはまらない」と回答した6年生が、約49%いました（全国平均は約23%）。これら2つの問いにおいて、否定的な回答割合が、全国の2倍を超えている事実は、注目すべきことです。

「いじめという行為は、いじめの加害者が絶対に悪い」という、当たり前の人権感覚が、日々の学校生活で育っていることはうれしく思っています。しかし、自分のよさを見出せていないこと、言葉を換えれば、自己肯定感をもてていない・自分に自信がない6年生が、約半数いることについては、大きな課題と認識しています。今後、改善していく対策を、学校全体として真剣に考えていかなければならないことです。

また、朝食についての大切さは論を待たないことであり、各ご家庭のご協力をお願いします。先日、NPO法人『健康寿命・リヴィングウィル』の轡田理事長様とお話する機会がありました。平成28年に、新潟市の小学校4年生と中学校1年生、約2000名を対象とした健康診断がありました。子どもの生活習慣病健診です。健診結果で異常がなかった子どもが、何と18.4%しかいなかったのだそうです。80%以上が「異常あり」なのです。

もちろん、6年生の傾向は、必ずしも全校児童の傾向と同じではないはずです。また、朝食を抜くことと生活習慣病の因果関係も分かりません。しかし、今回紹介した数値を並べてみると、今後、学校や家庭が気を付けていかねばならないことが、自ずと見えてくるように思いませんか。



10月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
9/26	27	28 5年5限授業	29 5年胎内自然教室	30 5年胎内自然教室 6年6限授業	10/1 5年5限授業	2
3	4 諸校費口座振替日 1年体験型安全 教室3～5限	5	6 授業4限 13:25下校	7 授業4限 13:25下校	8 1学期終業式 授業4限 13:25下校	9
10	11 秋季休業日	12 2学期始業式 通常授業	13 1・2年身体測定 スクールカウンセラー来校 13:00～16:00	14 3・4年身体測定 委員会（前期最終）	15 5・6年身体測定 3年校外学習 6年PTA行事	16
17	18 集団下校 14:30下校	19	20	21 クラブ 2年町探検	22	23
24	25 秋葉山ハイキング ※弁当	26 6年氷上スポーツ体験（1組）	27 6年氷上スポーツ体験（2組）	28 秋葉山ハイキング予備日 委員会 ※弁当	29 就学時健康診断（5年手伝い） 40分時程4限	30
31	11/1 全校朝会 4年PTA学年行事	2 6年地層見学	3 文化の日	4 諸校費口座振替日 クラブ	5	6 土曜参観日

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、予定が中止・変更になることがあります。

～「きこえの教室」の紹介～

きこえの教室 担当 小野 かさね

当校には「ことばの教室」「きこえの教室」「まなびの教室」の3つの通級指導教室が設置されており、秋葉区内（「きこえの教室」は江南区・南区の一部も含む）の学校から、それぞれ決まった時間に子どもたちが通って来ています。その中から、今回は「きこえの教室」について紹介します。

「きこえの教室」と言うと、よく「手話で話すのですか。」と聞かれるのですが、当教室ではあまり使いません。通ってくるほとんどのお子さんが、人工内耳や補聴器等の聞こえを補助する機器を活用して話を聞き、言葉を発して会話をしています。しかし、補聴器を使っても完璧に聞こえるようにはなりません。そして、聞こえの困難は、授業中に先生の話聞き損なったり、一斉に話す友だちの話聞き取れなかったりして、学習面やコミュニケーション面にも影響します。きこえの教室では、補聴機器を適切に利用したり、聞こえに起因する困難を改善したりするための指導及び支援を行っています。

通級指導教室は、正式には教育委員会の通級入級審査を通しての入級になりますが、お子さんのことで心配事がありましたら、ご相談は随時お受けしています。学校を通じて気軽にお声掛けください。